

【参考】

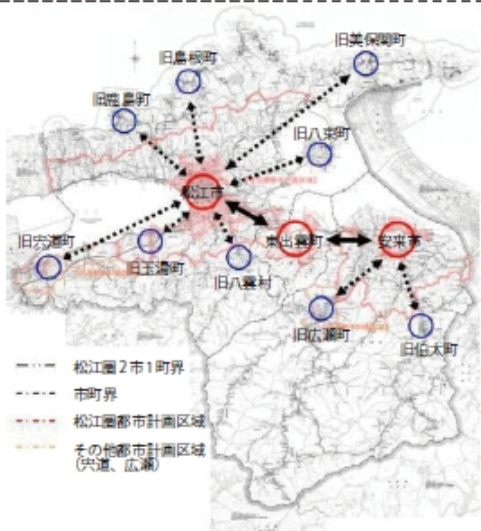
◇コンパクトシティの概念

コンパクトシティの定義については、論者や文脈によって異なるが、一般的には、

①高密度で近接した開発形態、②公共交通機関でつながった市街地、③地域のサービスや職場までの移動の容易さ、という特徴を有した都市構造のことを示すと考えられる。したがって、実際のコンパクトシティにはいくつかの類型があり、例えば「多極ネットワーク型」、「串と団子型」、「あじさい型」といったパターンがある。

多極ネットワーク型

合併前の旧町村中心部を地域拠点として、
中核拠点とネットワークで結ぶまちづくり



島根県都市計画マスタープラン

串と団子型

徒歩圏を団子とし、一定水準以上のサービス
レベルの公共交通を串として団子をつなぐよう
な、公共交通を軸としたまちづくり



富山市資料

あじさい型

交通結節点であり多くの拠点機能の整って
いる都市の核と、都市内の各地区(生活
圏)が連携したまちづくり



北上市資料